

取組の主体			取組の対象				地域の国際化			特色ある取組				
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒 未就学児 小学 中学 高校				教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用

メールを通じた国際交流プログラム

実施時期：令和3年～現在
任用団体：京都府



Erick Chen さん

取組のポイント

- 福知山高等学校と附属中学校の2人のJET-ALTが、アメリカの学校との間でメールを通じた交流プログラムを考案。
- 日本とアメリカの生徒（中学1年生～大学生）がペアを組み、日英の両言語でメールを交換することで、交流しながら語学力を涵養。

任用団体の基本情報

人口：2,537,860人

※令和5年4月1日現在

JETプログラム参加者の人数：(ALT) 32人 (CIR) 2人 (SEA) 0人

学校数：中学校4校、高等学校46校、特別支援学校12校

取組の背景・課題

私たちは、生徒が他国の同年代の生徒と、日常の実践的なコミュニケーションを行うことで、よい効果が得られると考えた。そうすることにより、生徒のモチベーションが高まるとともに、異文化理解の場として機能し、また、語学力を実践するアウトプットの機会の少なさを埋め合わせることができる。

加えて、同年代の生徒と交流することで、実際に学んだ外国語を使うことができ、外国語学習をより楽しむことができると考えた。

取組の内容

私たちは、アメリカ・ワシントン州の学校でこのような交流に興味がある学校がないか、ワシントン州日本語教師会に問い合わせた。すると、すぐに数件の返信があったため、紹介されたワシントン地域の学校の日本語教師に個人的にコンタクトを取った。また、知り合いの日本の大学の先生方にも声をかけた。現在、生徒の中には、大学生とメール交換を行っている者もいる。

もしこのような取組に興味を持つJET-ALTがいたら、地元の日本語教師協会に声をかけてみるのを勧めます。自分の出身高校や大学にも声をかけてみると、このような交流を始めることが出来るかもしれない。

・メール交換の方法

生徒はまず紙に手紙を書き、JET-ALTはその写真を撮ってアメリカにメールで送る。また、アメリカの生徒が書いた手紙を現地の教員に渡し、教員が写真を撮って日本にメールで送り返すこともある。こうすることで、教師が手紙の内容をできるだけだけでなく、例えば手紙にイラストを描くなど、生徒も創造力を発揮することができる。手紙は通常、日本語と英語の両言語で書かれているので、双方の生徒がそれぞれの学習対象の言語で文章読解の練習をすることができる。

取組の内容（続き）

• 生徒のペアリング

生徒のペアを組む際には、事前にアンケートで、生徒が一般的にどのようなテーマ（音楽、旅行、学校生活など）について書くことに興味があるかを調査し、同じような興味を持つ生徒とペアになるようにする。そうすることで、生徒はよりたくさん文章を書くことができると考えられる。

• 送受信の記録

JET-ALTは、Google Sheetsを利用し、メール（手紙）の送受信を記録している。例えば、どの生徒がどの学校のどの生徒とペアを組んでいるかというチャートを作成する。また、両学校間で送られたメール（手紙）の数をマスターチャートとして持っている。こうすることで、取組の状況が整理され、どのペアをフォローアップすればいいのかがわかりやすくなる。

• 注意すべき点・課題：

学事暦が異なるため、メール（手紙）の受信と送信の期間を調整するのが難しい場合がある。例えば、アメリカでは夏季休暇でも、日本ではまだ授業期間の場合がある。そのため、どの時期にメール（手紙）のやり取りの頻度を少なくするかなど、関係者間でコミュニケーションをとって決めることが重要である。

取組の成果・今後の展望

現在、日米両国で60名以上の参加者がおり、日本側は中学1年生から高校3年生まで、米国側は中学1年生から大学生までの生徒が参加している。日本のアイドルが好きという共通の話題で盛り上がるなど、同年代の仲間との交流が生まれ、長続きしている。

また、メール交換プログラムのパートナー校とZoomを利用したオンライン交流会を実施したところ、生徒たちは、それぞれの学校生活について楽しく話していた。更なる交流の発展のため、今後も再び、Zoomによるオンライン交流会を開催し、パートナー校の生徒とバーチャルに交流することも考えてる。

また、より多くの交流の場を提供するために、デジタル黒板（Padlet）、ビデオ会議など、将来の交流方法について検討したい。

問合せ先

担当部署名：京都府教育庁指導部高校教育課

T E L : 075-414-5849

M A I L : koukyou@pref.kyoto.lg.jp

U R L : <http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/cms/>

